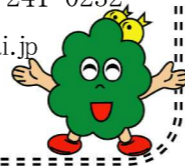


# 笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山  
 熊本市中央区保田窪1丁目1-33 第2大田ビル1階  
 第28号 電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232  
 平成26年7月 E-mail:sasaeriaobiya@kyouninkai.jp  
 http://www.kyouninkai.jp/obiya /



## 在宅医療・介護連携について

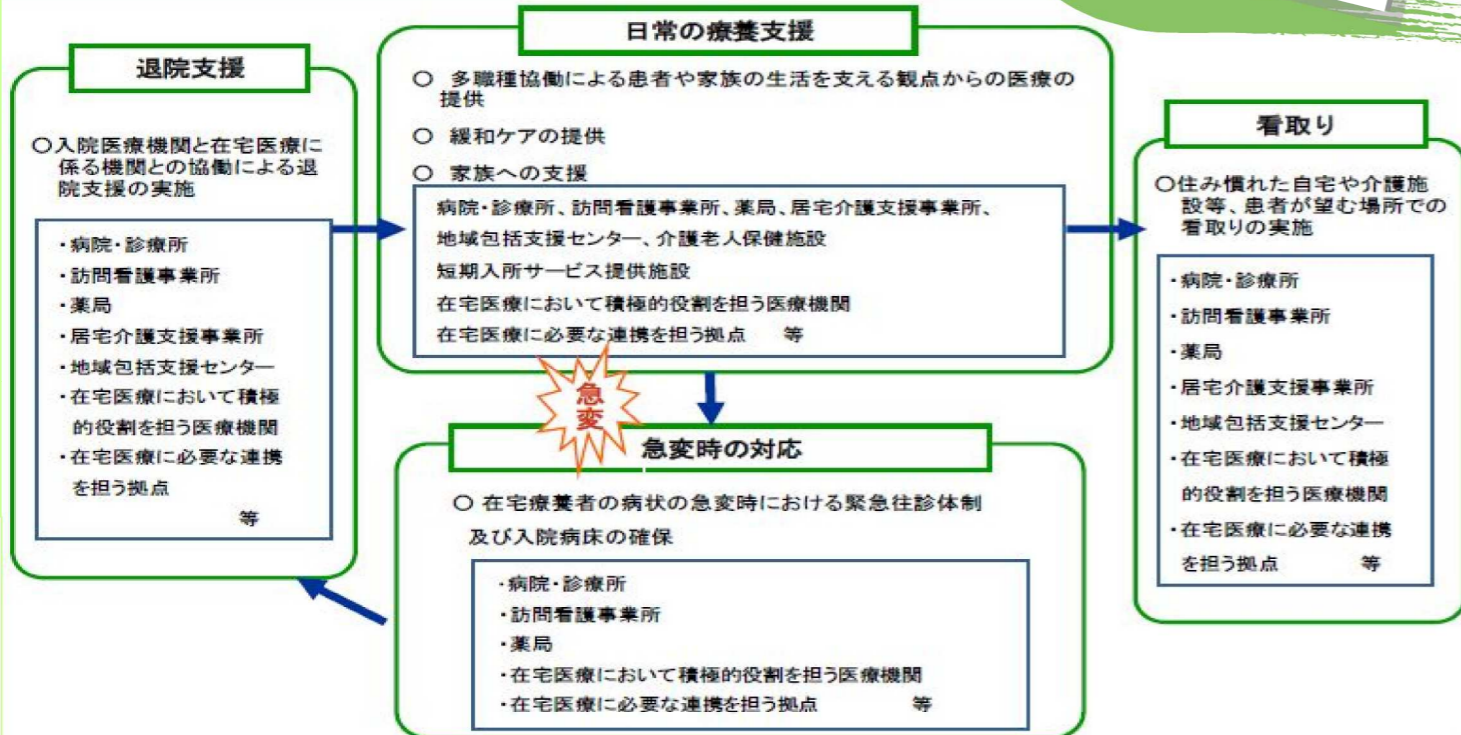
昨年八月の国の報告書では、地域包括ケアシステムの実現のため、在宅医療・介護の提供体制の充実と医療・介護連携の推進が必要であると強調されています。熊本県では、在宅医療を進める体制づくり（下図参照）や、熊本でも区単位での多職種連携を目指す取組みを始めています。

さて、ささえりあ帯山では、昨年度から在宅療養支援体制づくり事業（熊本県）を活用し、地域を基盤とした在宅療養医療連携フォーラムと在宅療養医療連携事例検討会を開催させて頂きました。今年度は、具体的な連携体制や共通の基盤づくりのために、まずは圏域内の中核病院（医療側）と主任介護支援専門員（介護側）との間で、共に連携を考えていく顔の見える「場」（体制）をつくり、さらに実践事例の検討会（可能なら病院にて）も予定しております。併せてこれまで通り、地縁組織（民生委員、自治会等）と医療、介護（福祉）、さらに異業種の方々も巻き込んだ事例検討会も予定しております。

センター長 那須 久史



## 在宅医療の体制



ICTって何だろう?!

ICTとは・・・【情報通信技術】の略  
 主に、コンピューター技術の活用に着目する場合を表します

託麻原小学校の（PTA）学校安心メールにおいて、昨年度より高齢者向けにも配信のご協力を頂いております。ささえりあ帯山ではICT化の一環としまして、この高齢者向けの安心メールを地域高齢者の徘徊者検索ツールとして、校区社協や民児協、自治会へ登録普及のお手伝いをしております。昨年は、自宅への帰り道がわからなくなった方に対する支援に、この安心メールが活用され、情報伝達と収集の効率性と効果性の高さを感じました。今年も皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。尚登録等々お知りになりたい方は、ささえりあ帯山迄ご連絡下さい。

## 「家族介護者教室」開催中！

5月30日（金）託麻原地域コミュニティセンターにて、今年度第1回目となります家族介護者教室を開催しました。約20名程の地域住民の方々にご参加頂き、「認知症の正しい理解」をテーマに、ささえりあ帯山認知症地域支援推進員の牛島と、認知症の人と家族の会 世話人村田氏よりお話しして頂きました。認知症の人を取り巻く家族や支援の在り方について、改めて考えさせられた貴重な時間となりました。



次回は、7月25日（金）帯山地域コミュニティセンターにて開催予定です。

皆様のご参加をお待ちしております♪

●実習生を紹介します！  
 6月に3組の実習生が来てくれましたが、紙面の都合でその中の一人に、実習後の感想を聞きました。「地域で暮らす高齢者を支援していくためには、包括支援センターだけでなく民生委員や地域住民等の協力を得て、助け合うことが大切であることを学びました。」

熊本看護専門学校 赤星 栞希

## 「認知症介護家族のつどい」

去る6月4日（水）に、つどいが開催されました。雨が降ったり止んだりのあいにくの天候の中、託麻原校区以外にお住まいの方も含め7名の方が足を運んで下さいました。



在宅での介護方法についての迷いや、施設入居に至ってしまった事に対する家族の後ろめたさなど、様々な意見が聞かれました。

次回は、9月11日（木）を予定しています。是非ご参加下さい。同じ境遇の方とお話してみませんか。



★編集後記★  
 六月二十八日（土）に開催致しました、ささえりあ帯山圏域の各種関係機関の方々との親睦会は、大盛況のうちに終了致しました。お忙しい中たくさんの方に足を運んで頂き、誠にありがとうございました。地域を支えるたくさんの方々のお顔を拝見できて、ささえりあ帯山として改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

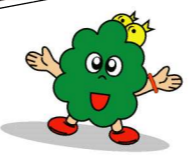
皆様を支えられながら、スタッフ一同頑張つて参りますので、今後共どうぞ宜しくお願い致します。

上村 佳子



# 高齢者交流会

## 5.29 帯山西地域コミュニティセンター



5月29日（木）と5月30日（金）の両日、帯山西校区で高齢者交流会が行われました。地域の方や民生委員さん、区役所の保健師、水前寺とうや病院、熊本市社会福祉協議会などそれぞれ40名近くの方が集まりました。校区ボランティアさんとの交流を通して、顔の見える関係づくりを行いました。始めにゲームをして緊張を

ほぐしその後、グループに別れ【今の自分の生活で楽しみにしていること】【困っていること】【どんな校区にしたいか】の意見交換をしました。個人での生き甲斐や地域での取り組みなど、たくさんの意見を聞く事ができました。発表後は、食事をしながら会話も弾み、とても楽しく有意義な交流会になりました。

## 5.30 東水前寺公民館



託麻原校区 地域ささえ合いネットワーク

### 住み慣れた地域で安心して生活するために ～地域のネットワークによる「面的」な支援の取り組み～



託麻原校区と帯山西校区では、高齢者領域の課題解決（企画・立案）のための“体制”がつくられています。メンバーは地縁組織の代表、行政（保健子ども課）、市社協、医療・介護等機関、包括、熊本学園大学等です。託麻原校区では“地域支え合いネットワーク会議”と銘打って随時開催しています。こちらでは3年前に行った、「認知症徘徊者捜索・声かけ模擬訓練」の実施を機に自然な形で組織化していきました。

帯山西校区では“地域ケア推進会議”と称し、今年度からスタート。ちょうど今年度「ボランティアと75歳以上の独居高齢者の交流会」を企画されており、その機会を使って高齢者の困りごとや今後必要なことは何かを検討する足掛かりとすることが出来ました。



帯山西校区 地域ささえ合いネットワーク

した。次に『救急救命法とAED』をテーマに、出水出張所の救急隊の方から話がありました。

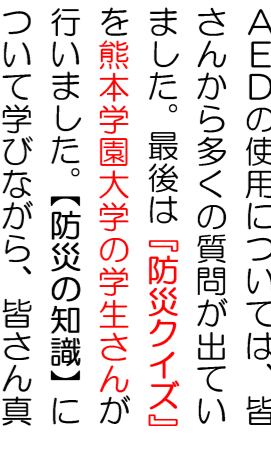
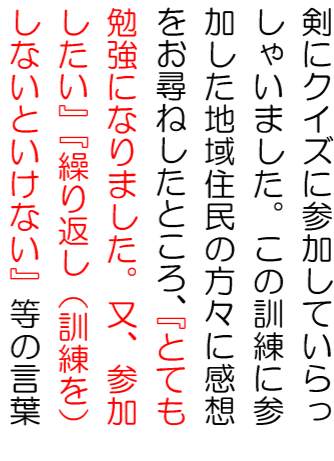


高齢者の対応の仕方』をテーマに、フォレスト熊本の理学療法士が実演を踏まえながら話をし実際に皆さんに体験して頂きました。

『近所の方と一緒に避難しました』と高齢者同士で助け合いながら避難する姿も見られました。その後コ

ミセンにて、『高齢者の対応の仕方』をテーマに、フォレスト熊本の理学療法士が実演を踏まえながら話をし実際に皆さんに体験して頂きました。

「自治体で自主訓練を行っているのは、全国でも41カ所程しかないと言われています」



AEDの使用については、皆さんから多くの質問が出ていました。最後は『防災クイズ』を熊本学園大学の学生さんが行いました。『防災の知識』について学びながら、皆さん真剣にクイズに参加していらっしゃいました。この訓練に参加した地域住民の方々に感想をお尋ねしたところ、『とても勉強になりました。又、参加したい』『繰り返し（訓練を）しないといけない』等の言葉がありました。参加者も多く、質問もたくさん出ており住民の方々の防災意識の高さを見る事ができました。



6月28日（土）、ささえりあ帯山圏域校区の各種関係機関の方々にお集まり頂き、親睦会を開催させて頂きました。同じ地域にある地縁組織や医療機関、介護サービス事業所、NPO、行政の皆様方にご参加頂き、さらに「皆で顔の見える関係作りができました」「こういった楽しいこともしながら、皆と一緒に協力できたらいいですね」などのお言葉も頂戴いたしました。地域を支えていらっしゃる皆様と一緒に、楽しい時間を過ごさせて頂

## 親睦会 下通りひゃくしょう茶屋にて



皆々様に  
感謝です！

くとともに、地域作りのための連携・協働ができる関係作りの一つの形になったのではないかと考えております。今後とも地域を支える体制を皆様と一緒に作っていかけておきます。最後に、たくさんの方にご参加頂き、感謝の気持ちで一杯でした。誠にありがとうございました。

